

相続を“争族”にしないための情報紙

そうぞくの窓口[®]

SOUZOKU NO MADOGUCHI KOUTOUKU BAN

江東区版 vol.9

2024.9

発行

そうぞくの窓口
江東支部

〒136-0072
江東区大島1-30-4 L-TOWER 1F

TEL 03-6661-0787

くで、宗派な
ど関係なく
相談に乗っ
ています」



特定非営利活動法人
寺院ネットワーク
理事 和泉逸平さん

泉「最近はお墓じまいを考
えられているそうですね」
和泉「特に都会で暮らす地
方出身の方。お墓が遠い、
複数のお墓を護つてきた母
親が亡くなつて、どうし
たらいいかわからないな
どの理由が多いですね」
泉「地方だとお墓参りも大
変だし、少子化も原因です
ね」
和泉「お墓じまいといつて
も方法は様々です。お寺や
霊園それぞれで違います。
私ももては後々のお付き合
いの負担が少ない方法を提
案しています。ただ、昔と違
つてお寺さんとの付き合い
合もほとんどなく、よくわ
からない中で話が進み、ト
ラブルとなることも多いの
も現状です。そこをなんと
かしたいと、この寺院ネッ
トワークで、宗派なく関係
なく相談に乗っています」

お墓参りも「苦勞」が増える「墓じまい」

遠く故郷にある先祖代々のお墓。お参りも簡単にはできないと困っている方も多いのではないのでしょうか。そして、その先は？ いずれ誰もがお世話になる葬儀やお墓に関してサポートする特定非営利活動法人寺院ネットワーク理事の和泉逸平さんに、令和の「墓じまい」事情をそうぞくの窓口編集長・泉が伺いました。

「墓じまい」って何をすればいいの?! 場合によってはトラブルも！人それぞれのお墓事情

泉「寺院内には、どんな相談が寄せられますか？」

泉「お墓じまいは、具体的なことは、和泉「簡単に説明すると、お骨の引越し先を決め、元のお墓の管理者の同意と市区町村での許可（改葬許可証）を取り、お骨を取り出し移転します。元の墓地は更地に戻してお返しするのが基本的なルールです」
和泉「たたくさんの許可や同意、そして、お金が必要ですね」
和泉「まずは、お墓の基本的なルールを知つて、家族、親族でしっかりと話し合う必要があるか、お金の誰が負担するのかもです」
泉「親族といつてもいろいろですから、ちゃんとしておかないと揉めますね」

多くの手続きを経て墓地を更地に

和泉「お布施や戒名の相談、墓地の選び方など事情に合わせてアドバイスしています。お墓については、親族に内緒で生前購入してあったとか、遺言状に自分の遺骨はスキー場に撒いて欲しいと書いてあったのだからどうしたらいいだろうかとかなど、多岐に及びます」
泉「ご遺族の困つた顔が目につかぶようです」
和泉「お墓は必ずお世話になる場所。どうしたいか、事前に決めておいた方がいいと思います。ただ、そこを引き継ぐ方も考えておいてほしいですね」
泉「先送りしがちな問題ではあります。皆さん、もやもやしているんじゃないでしょうか。わからないことがあれば専門家に聞くのが一番ですね」
和泉「いつでもお待ちしております」

自分のお墓はどうしたいのか

和泉「お布施や戒名の相談、墓地の選び方など事情に合わせてアドバイスしています。お墓については、親族に内緒で生前購入してあったとか、遺言状に自分の遺骨はスキー場に撒いて欲しいと書いてあったのだからどうしたらいいだろうかとかなど、多岐に及びます」
泉「ご遺族の困つた顔が目につかぶようです」
和泉「お墓は必ずお世話になる場所。どうしたいか、事前に決めておいた方がいいと思います。ただ、そこを引き継ぐ方も考えておいてほしいですね」
泉「先送りしがちな問題ではあります。皆さん、もやもやしているんじゃないでしょうか。わからないことがあれば専門家に聞くのが一番ですね」
和泉「いつでもお待ちしております」



お墓事情はもちろん、仏事の常識から相続・介護まで幅広いテーマでセミナーも開催

インタビュー：そうぞくの窓口編集長／泉三紀夫



お寺、葬儀、お墓、法事のこと、お気軽にご相談ください。
特定非営利活動法人寺院ネットワーク
～こころ豊かな人生をサポート～

TEL. 048-979-2204 FAX. 048-979-5146
MAIL. butsuji@jiin.info URL. http://jiin.info

